



Accenture Cloud Native Core Solution

VIDEO TRANSCRIPT

Accenture Cloud Native Core Solution は、フルクラウドで構築された次世代の基幹系システムです。

従来の基幹系システムは、安定性や堅牢性を考慮して、オンプレミス環境で変わらない普遍なシステムが求められてきました。

基幹系システムの周辺のクラウド上で、ビジネス環境に応じて、柔軟に変化可能な、ACTS、AI HUB プラットフォーム、Chat Co-Robotといったソリューションを作ってきました。

<現代のビジネスに求められること>

一方で基幹系システムが、様々な点からビジネス環境の変化のスピードについて行けないことが多くなってきました。

例えば、
ビジネスロジックの追加
SoE レイヤーとの柔軟な結合
データの分析やパーソナライズ
そして、柔軟なスケール
こういった点です。

真にデジタル・トランスフォームしたビジネスを実現する為に、新時代の基幹系システムはどうあるべきか考えゼロベースで構築したソリューション。それが、Accenture Cloud Native Core Solution です。我々は開発プロジェクト時のコードネームから、通称 MAINRI と呼んでいます。

<次世代の基幹系システムに求められる特徴>

次世代の基幹系システムに求められる特徴は様々あります。

一つは、「ハイパーパーソナライズ」モーメントや場所、全てに応じて、とことんパーソナライズすること。

二つ目が、全てのデータをリアルタイムに集め分析し即時アクションするということ。

三つ目は、大量のバッチをやるために、オンラインの処理を止めることがない、リアルタイムで処理するバッチであること。

四つ目が、機能の変化の柔軟性とスケーラビリティをきちんと担保すること。

<MAINRI の特徴>

全てを Kubernetes 上のマイクロサービスで構築して、どんな業界の基幹系ビジネスロジックでも動くようにしていくマイクロサービスのソリューションであること。

1. マイクロサービスのソリューション

全てのマイクロサービスを API で繋いでいるということ
オンラインを止めることなく並行して動くバッチシステムを
備えているということ

2. 全てを API でつなぐ

3. オンラインと並行して動く

クラウド上で必要な機能を自動でスケールして、突然の
負荷集中だとか障害というものに備えているということ

4. 突然の負荷集中や障害に備える

DevOps でワンタッチで新しいバージョンを基幹系として
リリースできるということ

5. DevOps でワンタッチで新しいバージョンをリリース可能

<MAINRI の性能>

秒間 2000 件を超えるようなトランザクションを、数百ミ
リセカンドの中で処理を完結させることができるようになって
いる仕組みです。

バッチ系の処理を流しながら、高速にオンラインの処理
もまわすことができるというのがもう一つのポイントになっ
ています。

仮にシステムがダウンしたような状態になってしまっても、
業務に影響なしに自動で復旧して、処理は継続でき
るような仕組みになっている。大量にさばっているデータ
をリアルタイムに近い形で DWH の分析基盤の方に回
し、その DWH 側で数秒で分析の検索が行えるという
ような基盤も準備しています。

即座に新しいバージョンに切り替えて、業務影響なくそ
れを実現できるような仕組みを入れているところも一つ
ポイントになっています。

エキサイティングなソリューションになっていると思います。

<今後の展望>

あらゆる業界で、あらたなデジタル・エコシステム、これを
築きあげるための基幹系システムとして MAINRI を活
用することで、顧客起点のアジャイルなビジネスの実現
を促進します。

Copyright © 2019 Accenture
All rights reserved.

Accenture and its logo are
trademarks of Accenture.